一般社団法人福岡県助産師会
～つながるいのち　ひと　組織　～　　2018 年 6 月

ニュースレター　No.67

平成 30 年度　一般社団法人福岡県助産師会総会
平成 30 年度　公益社団法人日本助産師会通常総会からの課題

一般社団法人福岡県助産師会　　会長　上野　恭子

平成 30 年 5 月 6 日福岡県助産師会通常総会が晴天の連休最終日に開催されました。特別講演は福岡県保健医療介護部健康増進課　佐野正氏による「福岡県に於ける産後ケア事業を含む、妊娠･出産包括支援体制について」でした。今後、母子保健を取り巻く変化に対応した福岡県としての取り組みをご自分の体験談を交えながら分かりやすく講演いただきました。

また、平成 30 年 5 月 24 日　日本助産師会都道府県代表者会議、25 日　日本助産師会通常総会が開催されました。世界情勢が大きく変わり始める兆しとともに、助産師を取り巻く環境も変化してきている兆しを感じた総会でした。

その中で、医療法等の一部改正する法律（医療に関する広告規制の見直し）で医業等に係るウェヴサイトの監視体制強化事業が開始され、広く一般の方からの通報を受け付けることが盛り込まれています。福岡県助産師会の 3 部会で、特に助産所部会、保健指導部会で開業されている会員の皆さまは充分認知していただきたいと思っています。

また、CLoCMiP®レベルⅢ（アドバンス助産師）の 2018 年度初回申請がはじまり、2020 年に CLoCMiP®アドバンス助産師更新要件が検討されています。2020・2021 年更新に関する情報の収集を行い、更新にそなえていただきたいと思っています。

また、平成 30 年 3 月 5 日「診療報酬の算定方法の一部改正に伴う実施上の留意事項について」により、乳腺炎重症化予防ケア・指導料が保健医療機関内で医療関係団体から認証された専任の助産師・CLoCMiP®アドバンス助産師が配置されていれば保健医療機関で乳房ケアが出来るということでしょうが、まだまだ議論を深めなければならない問題があるのではないかと考えています。

しかし、助産師が妊娠・出産・子育てを通して地域においても継続的に様々な場面で母乳育児への支

援を行っている現状をふまえ、乳腺炎重症化予防ケア・指導料が保険診療として評価された事は、今後保健医療機関と助産所においての連携等を含めた検討が必要ではないかと思っています。

福岡県助産師会では、平成 30 年度総会で会長・書記は二期目を迎え、新たに副会長・会計と常任理事体制が変わりました。一期目から取り組んでまいりました会館に関する建て替え事業等では、以前建て替え案がありその写真が助産師会館に置かれています。しかし建て替わる事がありませんでした。資金面が大きな壁になっている現状からどのような解決策があるか考えて、皆様にお知らせできればと考えています。

世界・日本の情勢が変化、ＡＩの発達で消滅する仕事などが予想されている中で、助産師の様々な問題を勘案し、今後の福岡県助産師会の先を見据え新たな助産師会の在り方を考えてまいりたいと思っています。今後とも御協力、御支援をお願い致します。

常任理事　挨拶

副会長　　稲冨　博美

平成 30 年度福岡県助産師会総会で、古田前副会長の後を受けて副会長の重責を担うこととなりました稲冨博美です。平成 16 年から 6 年間　書記ならびに福岡県家族計画協会事務局　平成 26～27 年度は助産所部会長として会の運営にかかわってきました。今回、前副会長からの申し送りを受け、その頃とは違う新たな問題が山積みのように感じます。そして一番の課題は「会館の建て替え問題」です。会員の皆様方の意見を尊重しつつ、偉大な先輩方が残してくれた想いを受け継ぎ、会としてより良い方向へ進んでいけたらと思います。私たち助産師に向けられる期待は時代とともに変化していきます。社会情勢を鑑みつつ、より良い変化は受け入れ、しかし大切にしなければいけない本質を守りつつ、福岡県助産師会がより強く必要とされる組織となるよう微力ではありますが責任を果たしていきたいと思います。　会員の方々のご協力をどうぞ宜しくお願い致します。

書記　仲道　由紀

このたび、2 期目に選出していただきました。1 期目では、会の運営が良くわからない中、ガムシャラに活動に取り組んできましたが、2 期目は、会館建替えを控え、行政との太いパイプができつつある今日、会の活動がより活発になり得る大切な時期でもありますので、これまで蓄えてきた『つぼみ』を会員の皆様と『開花』できるように努力していきたいと思っています。会の運営、活動に関しまして、皆様のご意見をどうぞお聞かせ下さい。どうぞよろしくお願いいたします。

会計　　田中啓子

この度、会計を担当させていただくことになりました。

常任理事の一員として機能していけるのか、とても不安ではございますが、会長はじめ理事の皆様にご指導いただきながら、ご迷惑をおかけしないように努めてまいりたいと存じます。どうぞよろしくお願いいたします。

表彰者報告

副会長　　稲冨　博美

平成 30 年度日本助産師会通常総会にて、
福岡県助産師会の大先輩である　諸永ミヨ子様　が日本助産師会名誉会員に推薦され、
承認されましたことを報告いたします。

平成 30 年度　日本助産師会会長表彰　　里山清子様、原武範子様

表彰された皆様のご功績を祝福するとともに、これからのご活躍を期待しています。
おめでとうございました。

3 部会長挨拶

助産所部会　　澁谷　貴子

助産所部会は、分娩を取り扱う開業助産師（有床助産所・無床助産所）とその助産所に勤務する会員とで構成されている部会です。　企業者の組織でもあります。
助産所部会員は、妊娠期から子育て期まで深くかかわる活動をしており、まさに「切れ目ない子育て支援」の実践者であるとも言えます。また、ローカリゼーションを大事に地域密着型の母子保健活動を行うという点においては、核家族化が進んでいる現代社会において、いつでも相談できる安心できる助産所の役割は貴重です。日本助産師会会長の山本氏は「助産所は小規模多機能型でなければならない」と提唱されています。各々の助産所においては、母親のニーズを捉え、即座に対応できるマネジメント力が必要とされるでしょう。

ますます、少子高齢化が進む日本、人口ピラミッドは棺桶型になると言われています。日本人が日本という国を支えられなくなる将来が見えています。少子化の問題はありとあらゆることに影響を及ぼしてきます。分娩を取り巻く環境も、周産期医療の発展に伴い、大きく様変わりしています。また、「女性が輝く社会、女性が働く社会」の推進は幸せな国づくりかもしれませんが、その反面、忙しく産み子育てをしなければならない女性たちの悲鳴も受け止める社会でなくてはならないと思います。

このような現代において、分娩取り扱いの開業助産師に何ができるのか？現代社会に必要とされる助産師であり続けるためには、どうしたら良いのかということを考えた時に、今年度は助産所部会主催の研修会を企画することに致しました。５月５日国際助産師の日のテーマは「助産師が質の良いケアで未来を拓く」でした。助産所部会員のスキルアップを目指し、医師との連携を強化していくためにも、中村薫医師をお招きし、１０月２０日（土）にセミナーを開催予定です。詳細については、会のホームページでご確認のうえ、多数のご参加をお待ちしております。

助産所部会長は、安全対策委員会、医療事故調査委員会の委員長も兼任いたします。心身ともに健康で健全で安全な分娩を追求しつつ、女性と子どもとその家族の幸せを守れる助産ケア、まさに質の良いケアが展開できるように、微力ではありますが、私に与えられた役割をしっかりと担っていきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

保健指導部会　福田　千鶴

はじめまして、今年度より保健指導部会長になりました福田千鶴です。
保健指導部会は、前年度と同様に、部会員様の活発な活動や研鑽を目標に、会の情報伝達を密にし、部会のネットワークが築けるよう努めて参ります。
また、本年度は会館の建て替え事業も控えており、部会としては有益な活動を広げ、支援していきたいと思います。
何分不慣れな事が多々あるかと思いますが、皆様のお知恵を拝借しながら進めて参りたいと思います。ご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い致します。

勤務部会　　島ノ江　栄子

若葉の色あざやかな季節となりました、今年もはや半年がすぎようとしています。
これから助産師業務はますます拡大し需要が増加するなか、座して待つのではなく時代を先取る活動へと転換する時機なのではと痛感しています。そのためには現場の力が必要で、助産師会を発展させていくためにも皆様の大きな力がこれまで以上に必要と考えます。その力を存分に発揮できるよう、やりがいをもって専門性を発揮できるよう連携を大切に、微力ながら取り組んでまいりたいと思います。
助産師会での活動は初めてですが、どうぞよろしくお願いいたします。

平成 30 年度　総会報告

副会長　　稲冨　博美

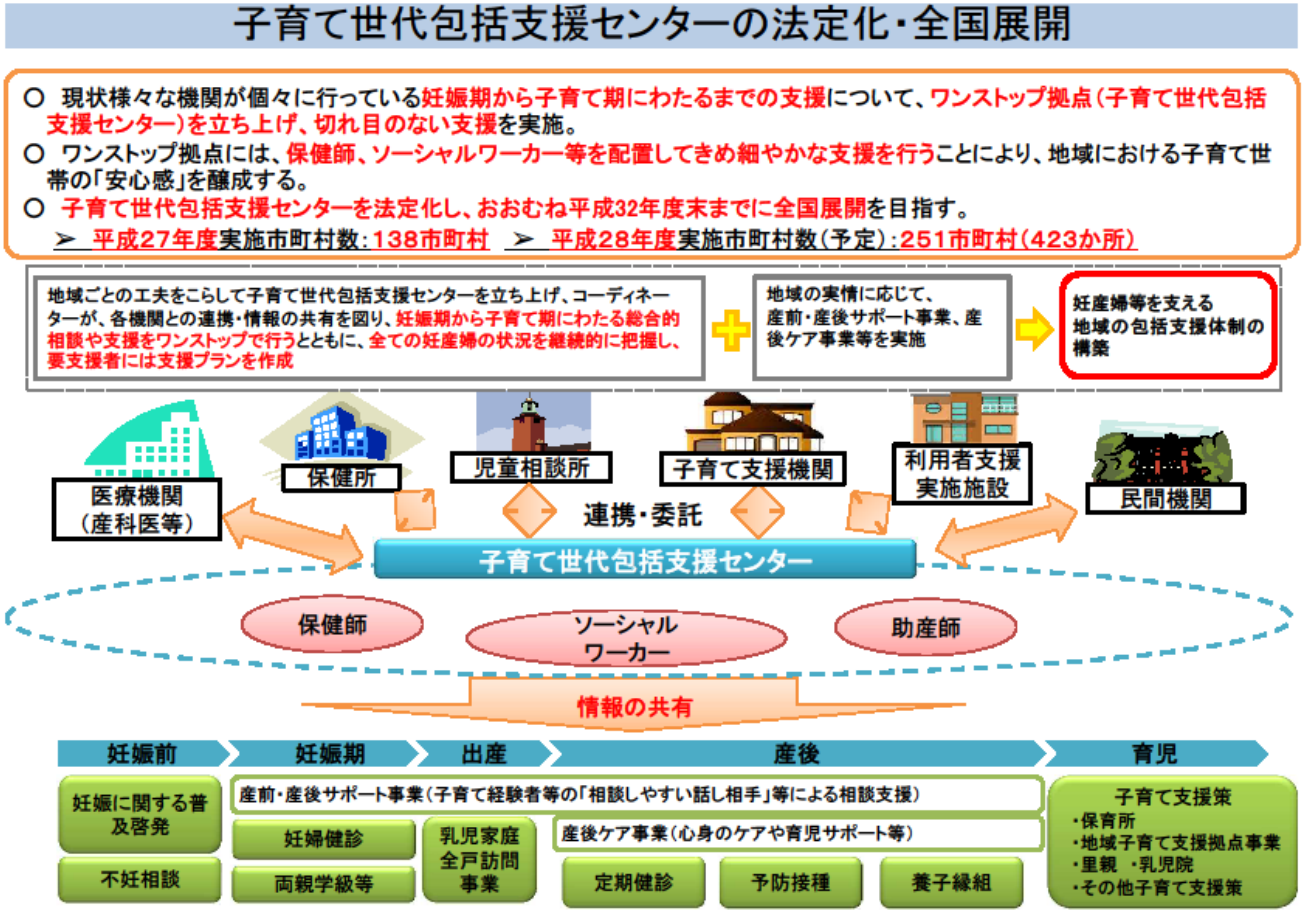
平成 30 年度一般社団法人福岡県助産師会通常総会を平成 30 年 5 月 6 日（土）福岡県助産師会館で開催いたしました。 会員総数 287 名　出席者 51 名・委任状 99 名　計 150 名で総会は成立の定足数を満たしていました。
議長には柳本朋子（久留米地区）・髙橋愛子（遠賀地区）2 名を選出し、議事録署名人は重久優子（筑豊地区）・益永孝子（宗像地区）の方々に務めていただきました。（敬称省略）詳細に関しては平成 30 年度総会資料をご参照ください。

その後、H30 年度の事業計画および予算が承認されました。
また、H30 年度会館整備特別会計の収支予算（平成 30～33 年度までの 3 年間）が活発な審議ののち承認されましたが、内容に関して多くの課題が山積しており、今後、各地区理事が行う地区での理事会報告やニュースレターなどで現状報告や提案がなされるので注意深く見守り意見をいただきますようお願いいたします。
その他、地区編成や委託事業等に関する審議が終了しました。
今年度の特別公演は福岡県保健医療介護部健康増進課長　佐野正様より「福岡県における妊娠・出産包括支援体制について」講演していただきました。
行政が行う支援の体制や現在の進捗状況など知ることができました。当会として母子が安心して充実したサポートが継続して受けられるよう支援の一端を担っていきたいと感じる講演となりました。

平成３０年度　一般社団法人　福岡県助産師会通常総会　特別講演会報告

筑後地区理事　田中綾子

福岡県助産師会通常総会　特別講演会において、「福岡県における妊娠・出産包括支援体制について」福岡県保健医療介護部健康増進課長　佐野　正様より講演して頂きました。皆様ご存知のようにおおむね 2020 年までに、各市町村は地域の特性に応じた妊娠期から子育て期にわたる切れ目ない支援を提供する体制を構築するために「子育て世代包括支援センター（母子保健包括支援センター）」を設置するよう努める努力義務があります。（図参照）



実施内容の一つに、地域の実情に応じて実施するように定められた、産後、身体的・心理的・社会的側面から支援が必要な母子に、助産師、保健師、看護師が行う専門性を活かした「産後ケア事業」があり、すでに開始している市町村もあります。

福岡県における「産前・産後の育児支援についてのアンケート」結果も提示して頂き、妊娠期から産後において困ったこと、受けたかった支援などをデーターとして見ることができました。

今回は時間が限られていたこともあり、導入編として講演していただきましたが、各市町村の現状なども知ることができ、今後、母子が安心して充実したサポートが継続して受けられるよう助産師会の体制を活かして「産後ケア事業」などへ協力できるよう市町村へ働きかけていく必要性を改めて感じました。

平成 30 年度　公益社団法人日本助産師会総会　報告

助産所部会　　嶋井元子

平成 30 年度日本助産師会総会、第 74 回日本助産師学会が 5 月 24 日から 26 日まで石川県金沢市で開催されました。
「ようこそ金沢へ」　　石川県知事をはじめ、金沢市長、石川県助産師会の皆様方から歓迎を受け、山本会長になって初めての総会でした。
　金沢市は今年から助産師会、助産所の協力を得て産後ケア事業を開始すると　市長が挨拶され、石川県産婦人科医会長は嘱託医として助産所の後方支援を行っている、医師、助産師の信頼を構築していかなければと力強く語られていました。
　助産所部会では、静岡県の「開業助産師をふやしていこう」というお産塾や羽衣セミナーの紹介がありました。すべての助産所が嘱託医を確保しており、周産期医療協議会には最初から参加、総合周産期センターは助産所の依頼でも搬送可能、行政や産婦人科医会との関係がよくなったということで、開業助産所も 10 年前よりふえ、現在分娩取り扱い助産所が 21、出張専門が 3。出生数自体は 10 年前より減っているにもかかわらず、助産所分娩、自宅分娩の割合は横ばいで推移しているし初産婦も助産所を選んでくるということでした。嘱託医の契約に関して苦労が少ない点も開業を後押ししていると思われます。
　全国的には助産所出産が減っています。「医師立ち会いのないお産ができる助産師がこのまま減っていってもいいのか？」と総会であつく語る開業助産師に拍手がわき、自然なお産を守るためにも、今、未来をみすえて真剣に考えていかないといけないと思いました。

勤務部会　　藤原裕美子

　専門部会集会(勤務助産師部会)では、「退院後の母児の支援体制について」名古屋日赤と佐賀市の取り組みを発表，その後島田副会長による，産後ケアガイドラインを柱にワークショップが進められました。でも皆の関心事は CLoCMiP®申請と診療報酬改正でした。アドバンス助産師がいる医療機関での乳房管理に保険点数が加算されるということが，今後保健指導部会も合わせて助産師会全体で取り組んでいかなければいけないのではと，気持ちを新たにした次第です。
　アドバンス助産師の申請に向けて頑張ってください。８月１日から開始です。

会館建て替えワーキング報告

会館整備ワーキング委員会　　澁谷　貴子

通常総会において、会館整備ワーキングのリーダーを任命されました澁谷です。会員の皆様よろしくお願いいたします。

通常総会では会長から会館建て替えに関する新着状況が詳しく説明されました。前年度のワーキング委員会は臨時総会を開き、その後入札業者を決定するという作業まで終わっていました。その後、今年度のワーキングが発足致しました。今年度のワーキングメンバーについては、総会資料をご覧ください。

３階建ての会館を建設するにあたり、入札業者は福岡工務店に決定しておりますが支払い計画において、現時点では不透明なことが多く、契約は保留とし現在に至っております。会員の皆様の会費で運営されている助産師会ですので、会館は会員一人一人の財産です。この場を借りて、現段階での問題点を明らかにし、新ワーキングメンバーの活動をご報告いたします。

【現時点での問題点】

① 西日本シティ銀行から１億円借り入れるにあたり、福岡工務店の賃料（30 万円／月→決定額ではない）が前提で、借り入れ可能となる。１億円は建築物のみの価格であり、内装や外構などは別費用である。建設後の会館にかかる水光熱費の算出、および固定資産税などの諸費用の算出ができていない

② 西日本シティ銀行から借り入れるにあたり、銀行からの支払い計画書がない

③ 税理士、行政書士、経営コンサルタントなどの専門家に相談がなされずに、建築するという前提を進めてきた

④ 会館を建て替える目的は、現会館の老朽化（耐震対応していない）の為である。また新会館においては、理事会運営、セミナー事業、産後ケア事業というビジョンがあるがこれらの事業において、収益のシミレーションができていない。

新ワーキングメンバーは、これらの問題点を踏まえ、リスクを洗い出すための会議を積み重ね、行政書士や税理士、経営コンサルタントへの面談やヒアリングを行い、会の収益性の予測などを検証しております。今後は、会員の皆様一人一人の意見を大切にするために、福岡市、北九州市、久留米市の ３ カ所でヒアリングを行い、方向性を明確にしていく予定です。会員の皆様は、３会場のどの会場でも参加可能です。ご不明な点やご意見など、ヒアリング会場でのご発言を頂きたく、会員の皆様の多数のご出席をお待ちしております。日時の詳細につきましては、会のホームページ又は各地区理事にお問い合わせください。

学校法人福岡保健学院みずまき助産院ひだまりの家

木の香りいっぱいの、身体に優しい助産院です。
あかちゃんとそのご家族が笑顔になれるよう、お手伝いさせて頂きます。

〒807-0051 福岡県遠賀郡水巻町立屋敷 1 丁目 14-50
Tel：093-201-7731 ／ Fax：093-201-7741
ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ：http://hidamari-ie.jp　e-mail：jyosanin@hidamari-ie.jp

研修会　案内

教育委員長　吉田　静

教育委員会では新年度を迎え、新たなメンバーで研修会を５月から 11 月まで毎月１回開催します（８月、９月：安全対策委員会と共催）。

長年に渡って母乳や食の視点から母子に携わる先輩助産師や医師の経験に基づくエビデンスと智慧、助産師による母子のからだケアの他、性教育、妊娠期からのメンタルヘルスケアなど様々な現場で活躍する助産師が必要としている技術や判断・思考力など実践力向上につながる内容を幅広い視点から企画しました。

また研修会申し込みフォームも作成し、簡単にお申込みいただけるようにしました。ぜひ福岡県助産師会ホームページをご覧ください。皆さまのご参加をお待ちしております。

《対象者》助産師、看護職(福岡県内外　会員・非会員)　・　学生
《会場》(一社)福岡県助産師会館　〒810-0014　福岡市中央区平尾 1-3-41
《参加費》助産師会会員 2,000 円　非会員 4,000 円　学生 1,000 円（助産師免許保持者は除く）※ 参加費は当日徴収いたします。
《申込方法》
申し込みは「ホームページ」または「ファックス」にて受け付けます。
＊各研修会開催１週間前までに参加申し込みをよろしくお願いします。
＊定員に達し次第締め切りとさせていただきます。
《申込先》
① ホームページ
福岡県助産師会ホームページ研修イベント内【参加申し込みフォーム】からお申込みください。
② FAX　0947-42-2058　(担当者：吉田静)
《問い合わせ先》
教育委員会　吉田静　090-7442-4165
災害対策委員会　田中綾子　090-9583-0949

No	開催日	研修会テーマ及び目的	講師	定員
2	6 月 24 日 (日) 13時～16時	乳房トラブルの対応方法 乳腺炎,白班,乳頭亀裂,しこり, 乳児湿疹　の手当法, 授乳困難,その他いろいろなトラブルの対処法	平田　喜代美助産師 平田母乳育児コンサルタント院長	60名
3	7 月 29 日 (日) 13時～16時	妊娠期からのメンタルヘルスケア	山下　洋医師 九州大学病院 子どものこころの診療部	60名
4	8月5日(日) 13時～16時	新生児のフィジカルアセスメント 子どものこころとからだの発達 ※ラダー対応研修申請中	白川　嘉継医師 福岡新水巻病院 周産期センター長	60名
5	9月9日(日) 13時～16時	産科出血 事例を通して、対応を学ぶ ※ラダー対応研修申請中	坂井　和裕医師 エンゼル病院理事長	60名
6	10 月 27 日 (土) 13時～16時	助産師が行う産前産後の母子の からだケア	古賀　ひとみ助産師 母と子のサロン ラクティア院長	60名
7	11 月 11 日 (日) 13時～16時	医師が伝える男の子の性教育	池田　稔医師 池田クリニック院長	60名
8	12 月 1 日 (土) 13時～16時	助産師の防災意識と行動力を高めよう」 九州北部豪雨から学んだこと ～災害から母子を守るために～ 【災害対策委員会主催】	杉本　めぐみ氏 九州大学 持続可能な社会のための 決断科学センター助教	60名

産褥社（胎盤処理）

〒811-1313
福岡県福岡市南区日佐3丁目34-16

TEL：092-581-6588

代表：村上　士朗

45th Anniversary

水と、空気と、睡眠と。
TUK東洋羽毛

Lumone

暖かさに
包まれる
贅沢なひととき。

GOOD DESIGN

羽毛足首ウォーマー　冷えは女性の大敵！

皆様に愛されて
24万4,568個※

◇いつでも　◇どこでも　◇どんな季節も

※2018年2月現在

東洋羽毛九州販売株式会社
福岡営業所　0120-104557
鹿児島営業所 0120-881125
長崎営業所 0120-104203
熊本営業所 0120-382808
宮崎営業所 0120-104039

ママと赤ちゃんのコンビニエンス

・●● 産科用品の自動販売機 ●●・

院内サービスショップとして
24時間いつでも利用していただけます。

GLORY
汎用販売機 AE-20V

- 1台で90品目販売、豊富な品揃えができます。
- 販売価格は5,000円まで。もちろん、千円紙幣も使えます。
- 売上集計もワンタッチで。ジャーナル印字も行えます。

陳列コラムを
回転させながら
商品が
選べます

↓

投入金額以内の
陳列コラムの扉を
1つだけ開けて商品
を取り出せます

外形寸法：(W×D×H)
800×685×1830mm・重量150kg

企画・発売元
SEBE セベ産科用品株式会社
〒812-0016 福岡市博多区博多駅南4丁目11-11 TEL(092)472-4316

赤ちゃんの城
Akachan no Shiro

わたしたちはレイエット・メーカー
赤ちゃんといっしょの夢をみます。

産院内用ウェア寝具 ／退院時用品
プランニング＆デザイン

わたしたちの商品は全国120店の百貨店で販売され、
700施設の産婦人科病院で採用いただいています。

株式会社 赤ちゃんの城
TEL:0942-37-8111　FAX:0942-39-5184
「赤ちゃんの城」HP　URL http://www.baby.co.jp/

家づくりに悩んでいる方をご紹介ください

福岡県助産師会館のすぐ隣にある「助産師と考えた家（福岡市中央区平尾）」が、お陰様で3年目を迎えました。

会員の皆様からいただいた要望を 34 項目取り入れたこの家は、NHK をはじめ、各報道機関にも取り上げていただき、これまでに延べ 350 名以上が見学に訪れ多くの反響をいただいております。

助産師と考えた家

《紹介する3つメリット》

① **妊婦や出産後の母子、ご家族へ健康に対する「衣食住」のアドバイスができます**
これまでの「衣」や「食」に対するアドバイスの他に「住」についてもアドバイスができるようになります

② **家づくりに悩んでいる方が、「住まい」について比較することができます**
施工技術全国1位の福岡工務店がプロの立場から、住まいの相談にのります

③ **会員様個人と福岡県助産師会へ、紹介料をお支払い致します**
ご紹介していただいた方が当社に来社すると会員様個人へ、そして契約まで至ると会員様個人と合わせて福岡県助産師会にも紹介料が支払われるので、会全体でできることがさらに広がります

- ご紹介 → **5,000円**（会員様個人）
- ご成約 → **100,000円**（会員様個人）
  → **50,000円**（福岡県助産師会）

《紹介からお支払いまでの流れ》

1. 教える

家づくりに悩んでいる方へ、「助産師と考えた家」や「福岡工務店」があることを知らせていただき、家づくりの悩みが解決できることをお伝えください。

2. 連絡する

悩んでいる方が詳しく話を聞いてみたいとなったら、希望日や時間を確認し、会員様から当社にお電話、またはメールをください

電話：092-586-7658
メール：info@fukuoka-k.jp

3. お支払い

ご紹介していただいたお客様が福岡工務店の事務所にご来社して頂いたら、当社から会員様へご連絡致します。その際にお支払い口座を教えていただき、後日お振込みさせていただきます。
※成約に至った場合も同様です

ご相談やご連絡は、担当の「増田（ますだ）」まで

092-586-7658

増田

福岡工務店
メールアドレス：info@fukuoka-k.jp
受付時間：9時～18時
定休日：水、隔週火
土・日・祝も営業しています

一般社団法人福岡県助産師会では、会員募集中です！

ご友人や職場の方をお誘いし、一緒に活動してみませんか？
入会をご希望される方は、下記のＱＲコードより福岡県助産師会 HP 入会案内のページに入れます。
または、下記へ連絡をお願いします。

〒811-3507
宗像市多禮 598
田中 啓子（福岡県助産師会　会計）
TEL 090-9721-6590
FAX 092-943-4576（愛和病院内　田中宛）
メール hiroko.tanaka@aiwa-hospital.or.jp

ひとりでも多くの皆様の入会を心よりお待ちしております

【編集後記】
広報委員が交代しました。
前委員長澁谷さん、手取屋さん、野口さんお疲れ様でした。
新メンバー加わり、年 3 回の発行ですが、皆様が何度も読み返していただけるようなニュースレターとなるよう　新たな気持ちで編集していきます。

広報委員　　髙橋・松山・長谷川・原武・益永・大島

一般社団法人福岡県助産師会ニュースレター第 67 号 2018 年 6 月
発行人　一般社団法人　福岡県助産師会　会長　上野　恭子
〒810-0014　福岡県福岡市中央区平尾 1-3-41
電話・ＦＡＸ　092-521-2025　http://www.fukuokajyosanshi.com